

No. 2

近畿地方整備局
事業評価監視委員会
(平成16年度第4回)

一般国道24号

ご じょう
五 條 道 路

平成17年3月

国土交通省 近畿地方整備局

目 次

□事業の目的	1
□計画の概要	2
□事業の経緯及び進捗	3
□事業を取り巻く社会状況	5
1. 社会的背景	5
2. 現道の状況	10
3. 周辺の事業等	14
4. 地域における計画	15
□事業の整備効果	17
□費用便益比の算定	25
□コスト縮減や代替立案等の可能性	27
□対応方針	28

事業の目的

- ・ 京都、奈良、和歌山の連携強化による広域的な都市圏の活性化
- ・ 交通混雑の緩和、交通安全の確保
- ・ 生活圏・活動圏拡大による地域の活性化

国道24号は、京都市を起点とし、奈良市を經由して和歌山市に至る延長約160kmの主要幹線道路です。

奈良県五條市は、紀ノ川沿いに広がった平野を中心に人口が集中していますが、広域的な幹線道路は2車線の国道24号のみであり、高速道路が未整備な地域であることから、生活圏・活動圏の拡大のため規格の高い道路の整備が求められています。また、国道24号では、交通渋滞や交通事故が多発しています。

五條道路は、京都・奈良・和歌山を結ぶ延長約120kmの京奈和自動車道の一部として、奈良県ごじょうしいでちょう居傳町から五條市ごじょうしはたけだちょう畑田町間に計画された自動車専用道路で、京都、奈良、和歌山の連携強化により広域的な都市圏の活性化を図るとともに、国道24号の交通混雑の緩和、交通安全の確保及び生活圏・活動圏の拡大による地域の活性化を図ることを目的に計画された高規格幹線道路です。

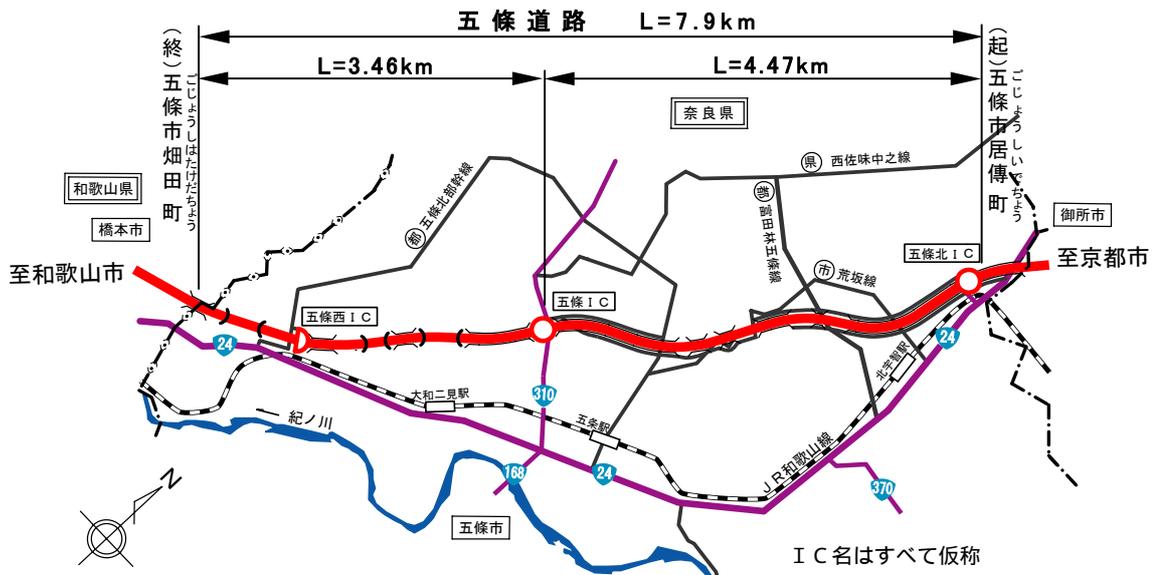
京奈和自動車道の位置図



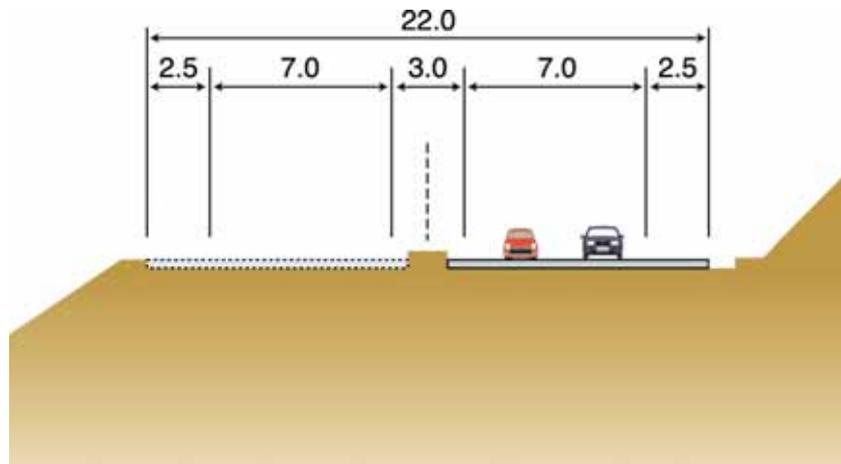
計 画 の 概 要

- ・ 起終点 起点) 奈良県^{ごじょうしいでちょう}五條市居傳町
 終点) 奈良県^{ごじょうしはただちよう}五條市畑田町
- ・ 計画延長 $L = 7.9 \text{ km}$
- ・ 幅員 $W = 22.0 \text{ m}$
- ・ 構造規格 第1種2級（自動車専用道路）
- ・ 設計速度 $V = 100 \text{ km/h}$
- ・ 車線数 4車線
- ・ 全体事業費 約770億円

【計画図】



【標準断面図】



事業の経緯及び進捗

1. 事業の経緯

- ・昭和48年度 事業化 五條^{ごじょう}バイパス L=6.4km
- ・昭和62年2月 都市計画決定（第1種第3級）
- ・昭和63年度 用地着手
- ・平成元年 「一般国道の自動車専用道路」
として整備計画決定
- ・平成2年度 工事着手
- ・平成3年1月 都市計画変更 五條^{ごじょう}道路L=7.9km
(第1種第2級)

2. 事業の進捗

- ・事業進捗 59%（平成15年度末現在）
- ・用地進捗 91%（面積ベース、平成15年度末現在）

3. 関係機関との調整等

五條道路の用地買収にあたり、公図が全線にわたり混乱していたことから、公図の訂正を含め、用地買収に時間を要しました。また、一部には任意買収の困難な案件もあり、早期に用地取得を完了させるため、現在土地収用法に基づく手続きを進めています。

また、ほぼ全線にわたり埋蔵文化財が分布しており、発掘調査を行いながら、事業を進めてきました。

現在の状況



ちかうち ①五條市近内地区



おか ②五條市岡地区



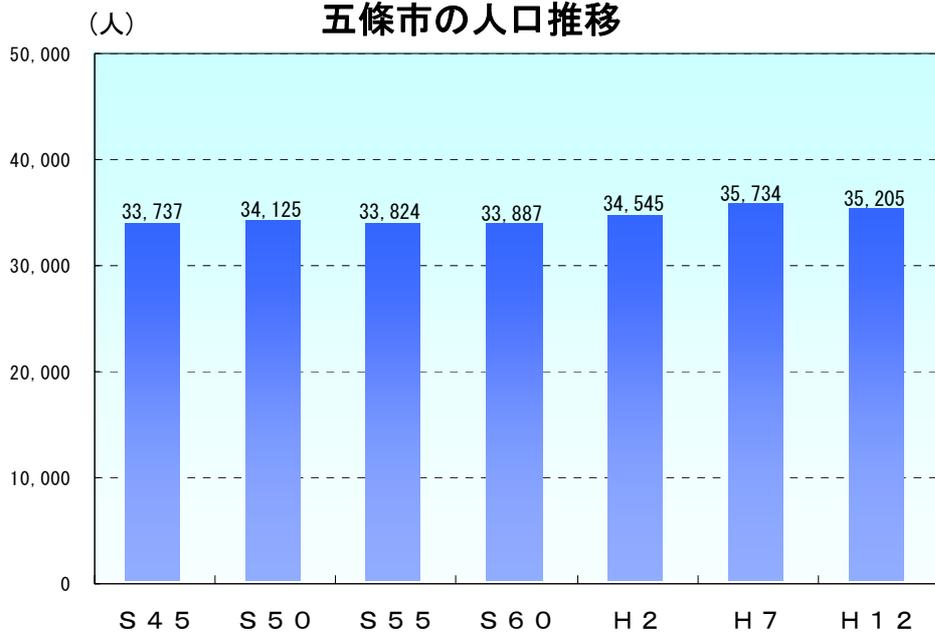
事業を取り巻く社会状況

1. 社会的背景

(1) 沿線地域の人口及び自動車保有台数の推移

【沿線地域の人口】

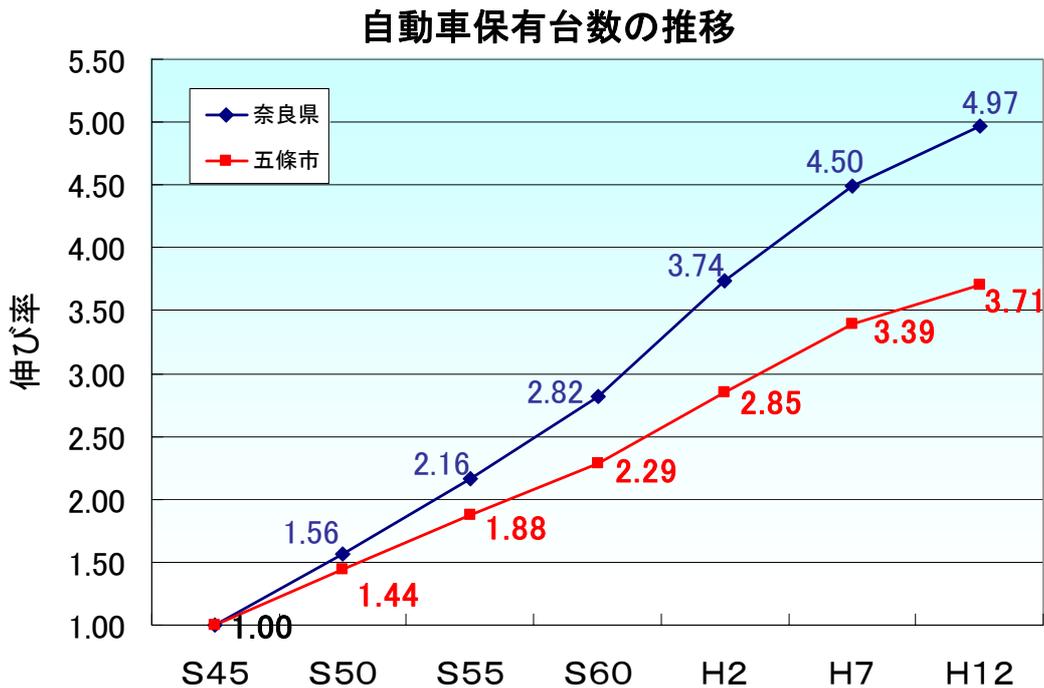
五條市の人口推移は、ほぼ横ばいの傾向にあります。



出典：国勢調査

【自動車保有台数の伸び率】

五條市の自動車保有台数は、着実に伸びています。

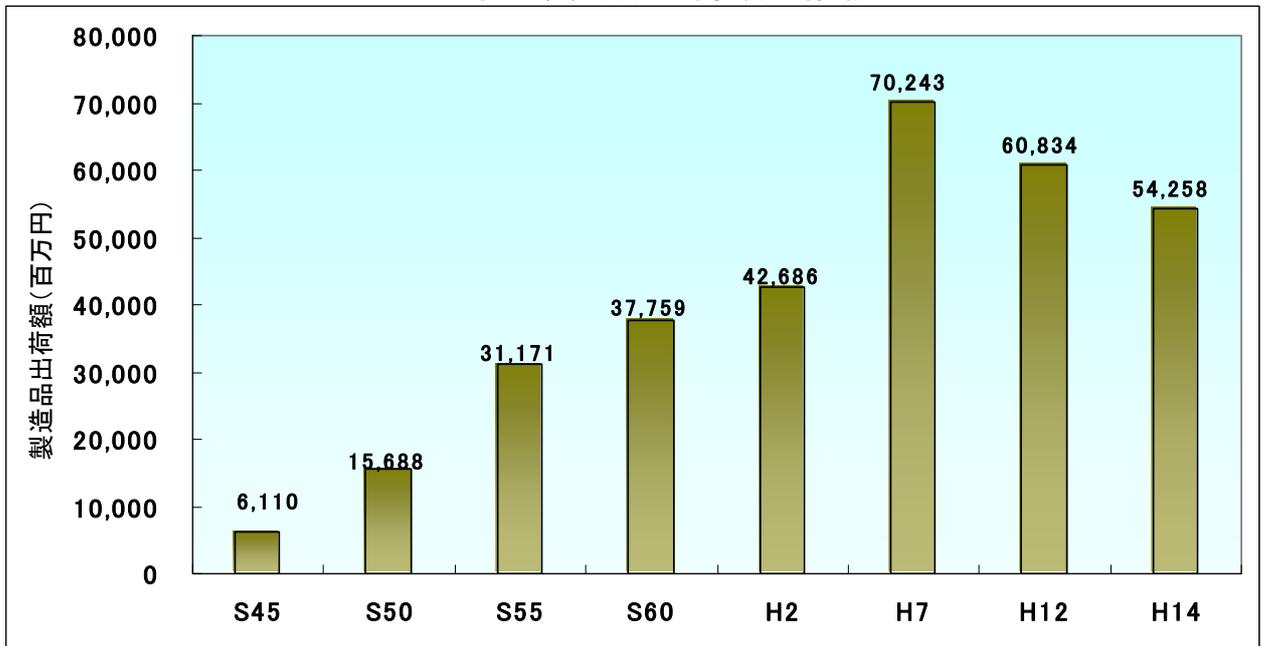


出典：近畿運輸局、国土交通省「自動車保有台数」

(2) 地域産業の状況

五條市の地場産業は、「木材・木製品製造業」を中心に発展してきましたが、近年、五條市の製造品の出荷は低迷しています。

五條市の製造品出荷額の推移



出典: 奈良県統計課「工業統計調査結果報告書」

平成14年五條市製造品出荷額

順位	業種	製造品出荷額	比率
1	木材・木製品製造業(家具を除く)	7,768 百万円	16%
2	プラスチック製品製造業	6,375 百万円	13%
3	化学工業	5,856 百万円	12%
4	一般機械器具製造業	5,147 百万円	11%
5	電気機械器具製造業	4,841 百万円	10%

出典: 奈良県統計課「工業統計調査結果報告書」

「木材・木製品製造業」

五條市の製造品出荷業種の中で最も製造品出荷額が大きいのは「木材・木製品製造業」です。



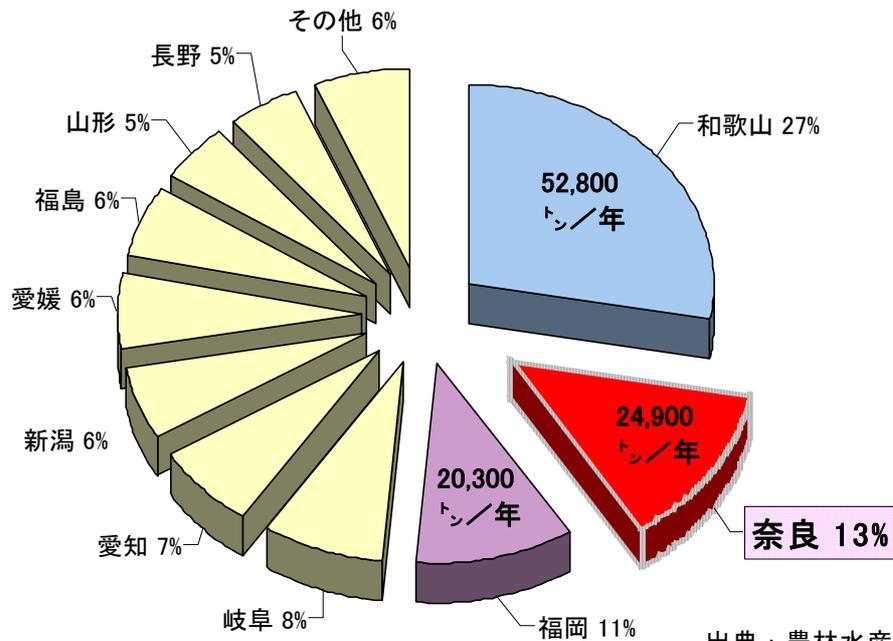
「吉野箸（割箸・祝箸）」

建築材を採った外側の端材部分（背板という）を加工して製造され、美しい木目の杉箸、優れた色沢の桧箸、ともに形のよさ、使いよさに優れ、昔から広く愛用されています。

(3) 農産物の状況

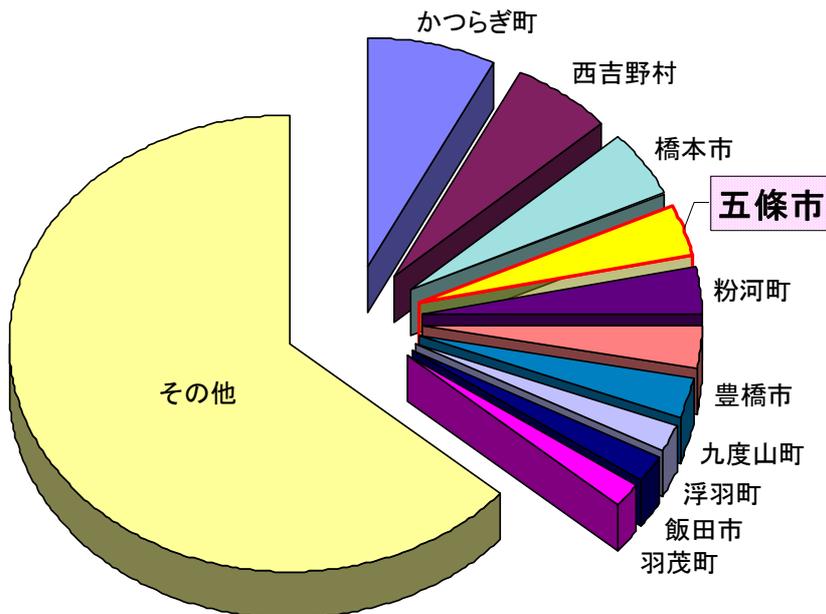
平成14年における奈良県内の柿の年間出荷量は24,900トンで、和歌山県について全国第2位のシェア（13%）を誇り、全国の市町村別に見ると五條市は全国第4位となっています。

府県別柿出荷量(H14)



出典：農林水産省統計データ

市町村別柿出荷量(H14)



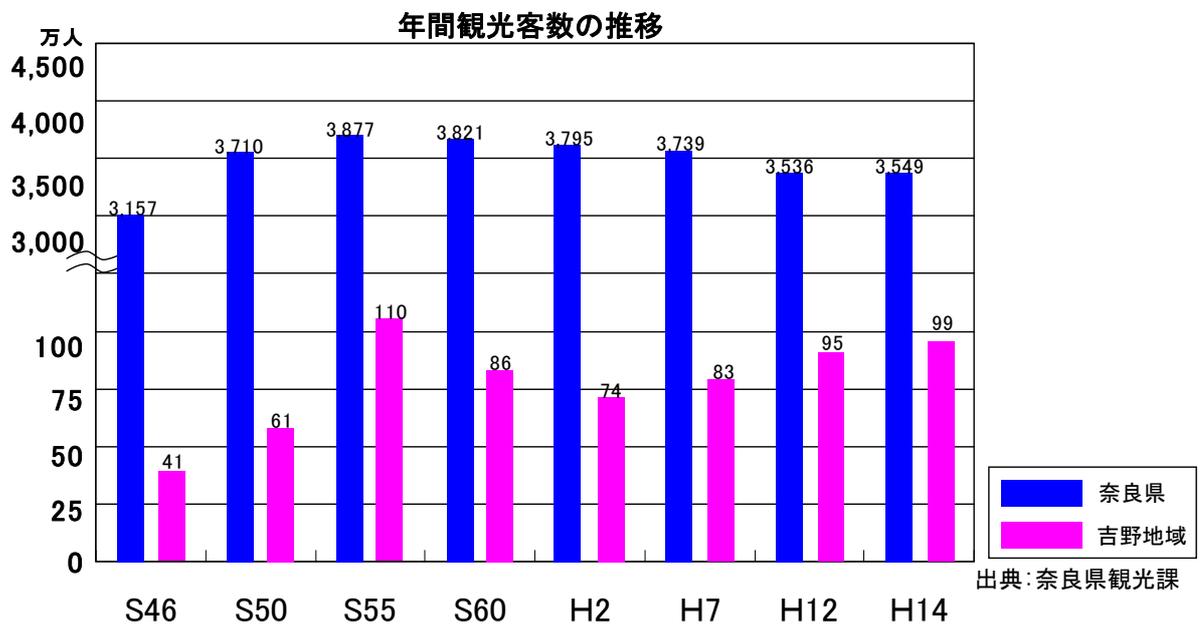
市町村別柿出荷量(t)

かつらぎ町	16,600
西吉野村	12,400
橋本市	10,100
五條市	8,260
粉河町	7,110
豊橋市	6,790
九度山町	5,600
浮羽町	4,500
飯田市	3,970
羽茂町	3,960
その他	138,510
全国合計	217,800

出典：農林水産省統計データ

(4) 沿線の主な観光資源

奈良県全体の観光客数の伸びが横ばい状態にある中で、吉野地域の観光客数は、近年、増加傾向にあり、平成14年には約100万人もの観光客が国内外から来訪しています。平成16年7月には金峯山寺・大峯奥駈道など「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産登録されたことから、今後も更なる観光客数の増加が見込まれ、五條市はこの吉野地域の玄関口となっています。



世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」



吉野山「金峯山寺」(吉野町)

平成16年7月には金峯山寺を含む「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録



【凡例】

●登録遺産

(茶字は登録遺産である参詣道のルート)

(5) 高度医療施設までの搬送状況

五條市から最寄りの第三次救急医療施設までの搬送時間は、^{かしはら}橿原市の奈良県立医科大学附属病院で約48分の時間を要しています。

第三次救急医療施設30分到達



五條市から最も近い第三次救急医療施設までの搬送



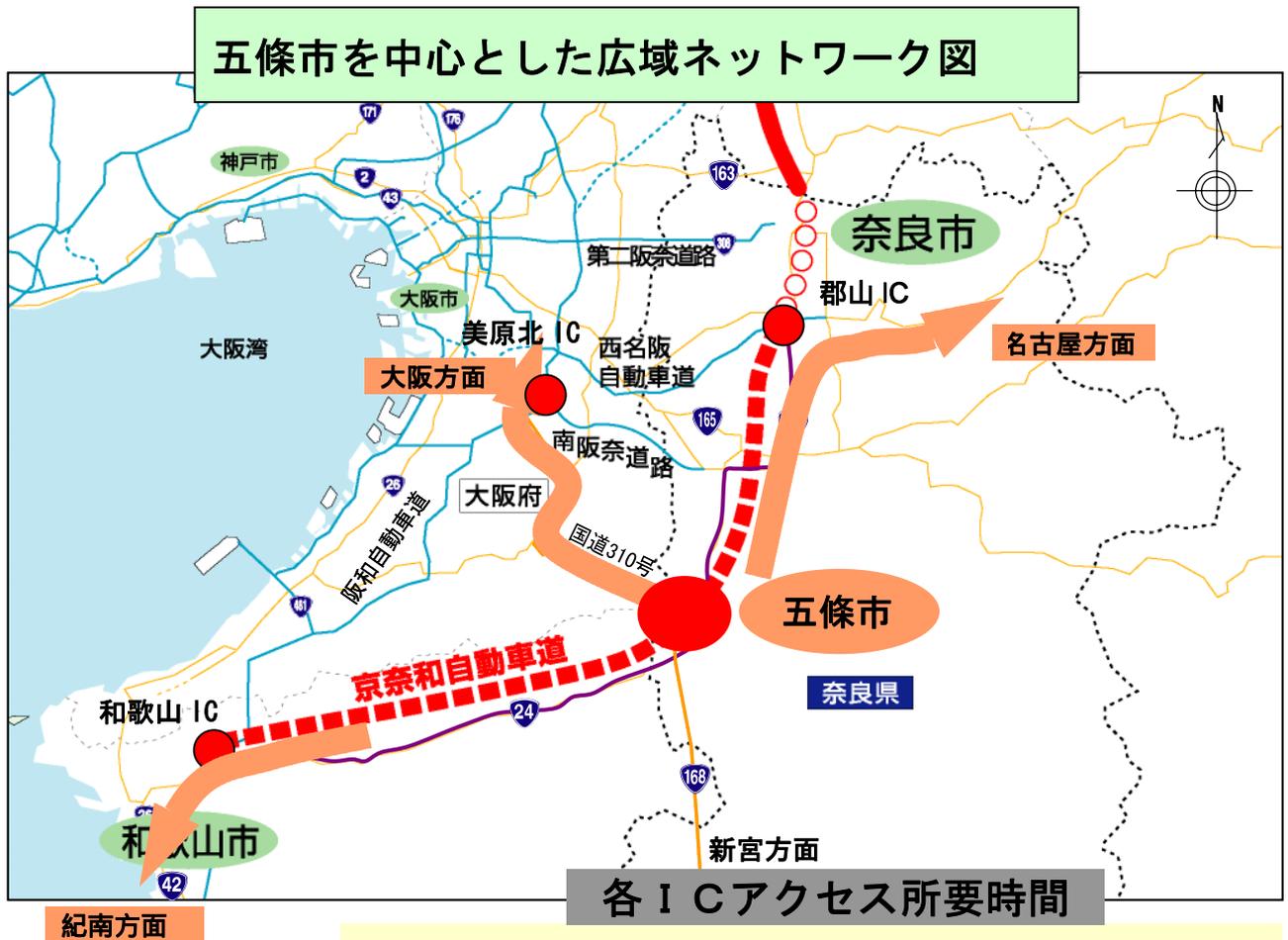
各IC所要時間は、H11 センサス混雑時速度により算出

※第三次救急医療施設とは、脳卒中、心筋梗塞、頭部外傷等の重篤な患者を24時間体制で受け入れ、高度の診療を提供する救急救命センター等の医療施設。

2. 現道の交通状況

(1) 五條市の道路状況

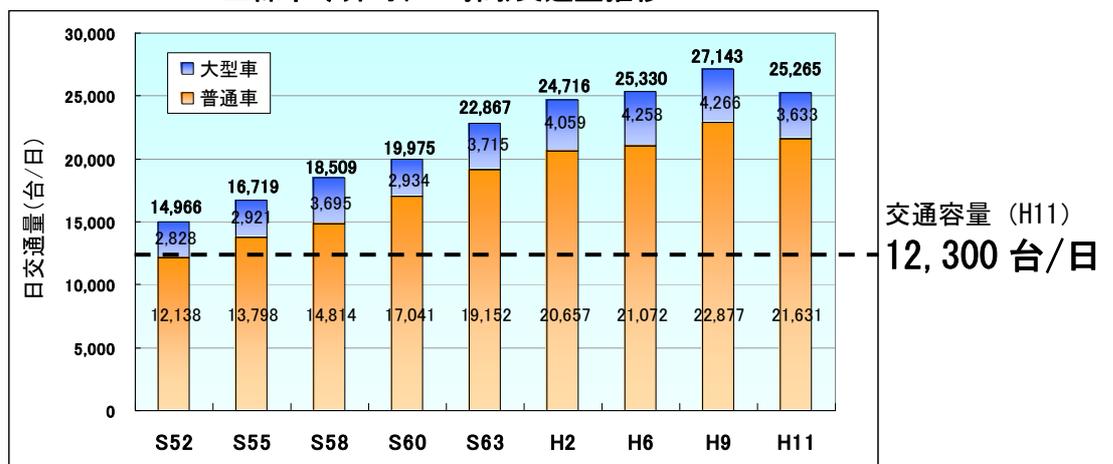
五條市の広域幹線道路は、南北方向は新宮方面で国道168号、大阪方面で国道310号、東西方向は国道24号のみで、高速道路の最寄りの各ICまでは、70分以上の時間を要しています。



※各IC所要時間は、H11 センサス混雑時速度により算出

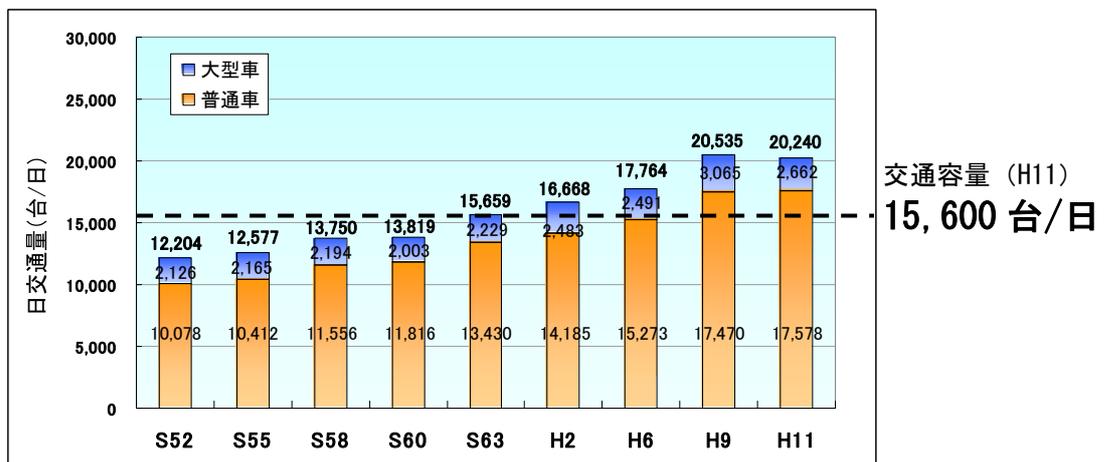
(2) 国道24号の交通量

五條市の東西方向の主要幹線道路は国道24号のみであり、近年の交通量の推移は、乗用車、大型車ともに増加傾向で交通容量を大幅に上回っています。



ごじょうししんまち

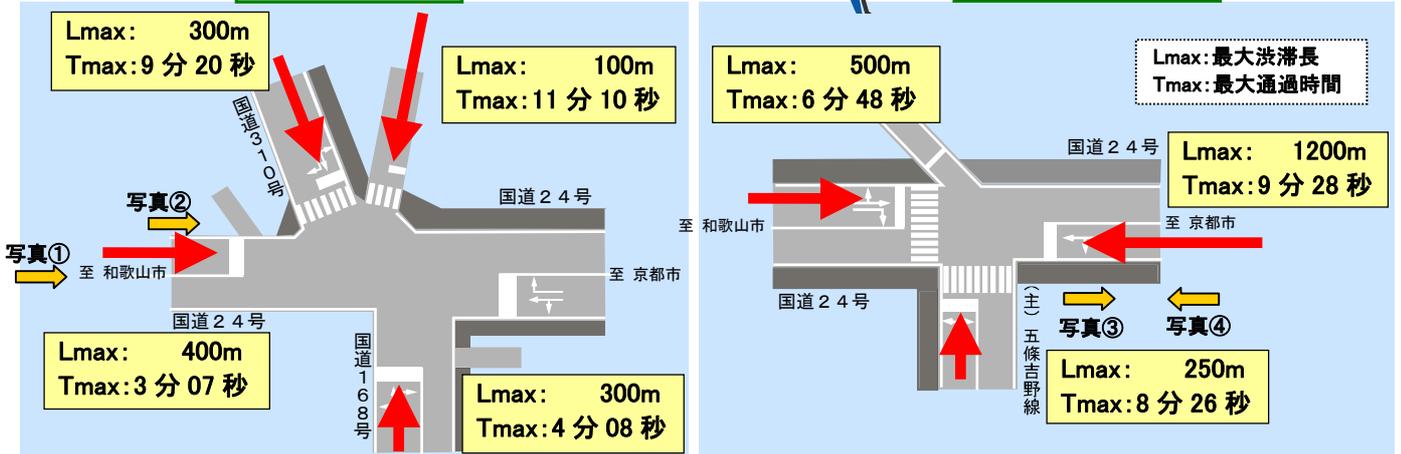
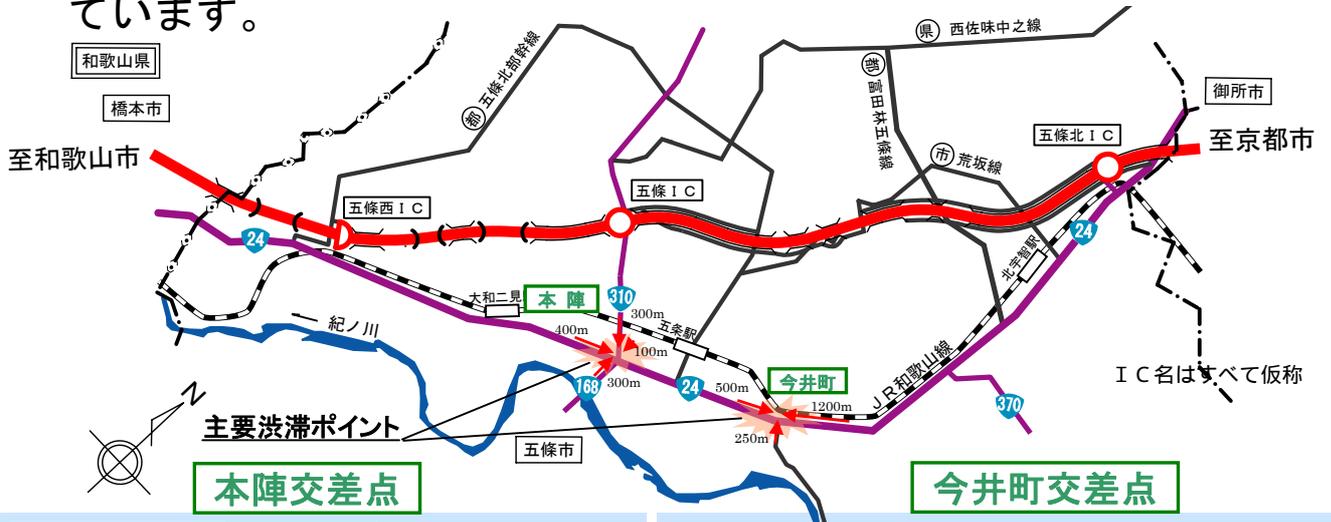
五條市新町(24時間)交通量推移



出典：道路交通センサス

(3) 国道24号周辺の渋滞状況

五條市の^{ほんじん}本陣交差点、今井町の^{いまいちよう}交差点は主要渋滞ポイントとなっています。



写真①【本陣交差点付近: 京都方面】



写真②【本陣交差点付近: 京都方面】



写真③【今井町交差点付近: 京都方面】



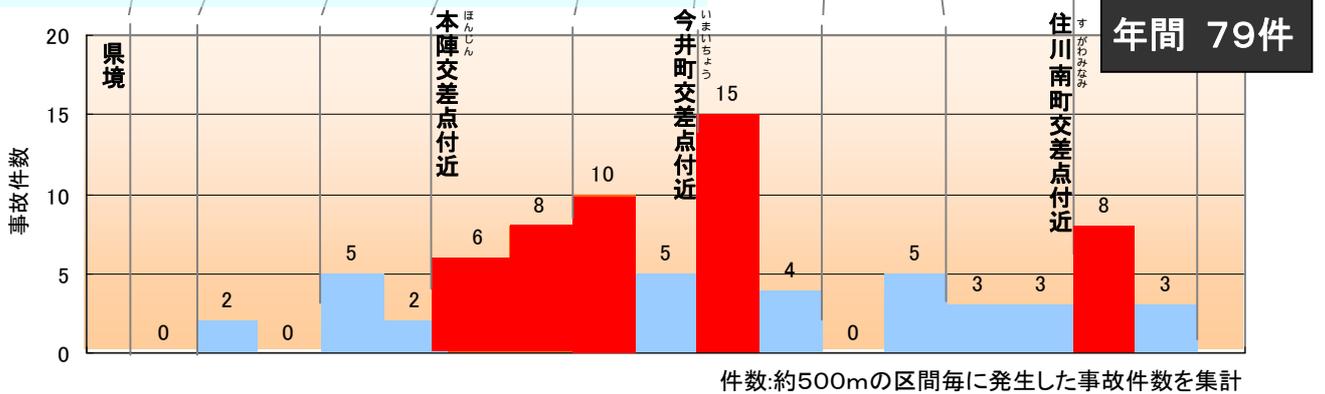
写真④【今井町交差点付近: 和歌山方面】

(4) 国道24号の交通事故発生状況

五條市の国道24号における交通事故は、市街地において多発しています。



【H14年の事故発生件数と発生箇所】



3. 周辺の主な事業

五條市は、大規模な住宅団地や工業団地の開発とともに、公共施設等の整備を図ることにより、緑豊かな丘陵地を生かした産業や教育・文化機能を併せ持った複合都市の形成を目指し事業を進めています。



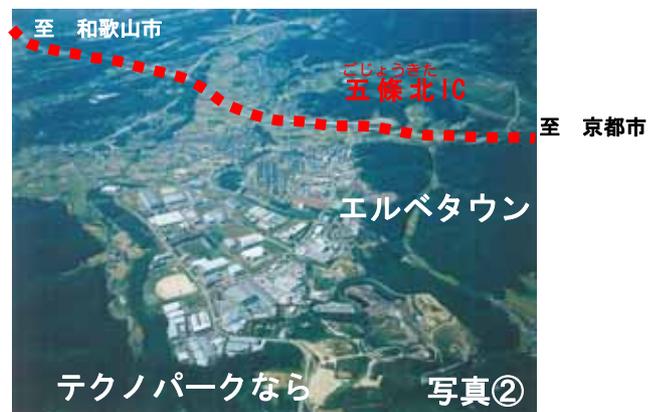
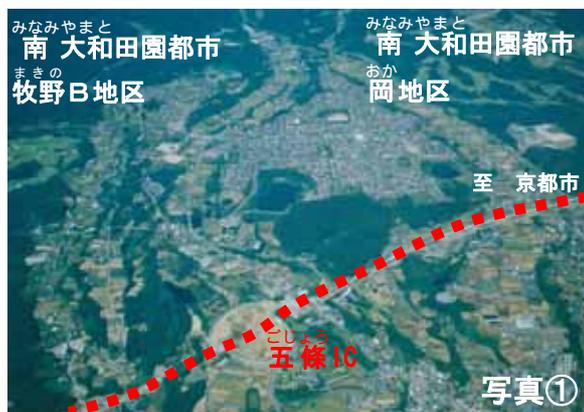
【宅地開発】

平成17年1月末現在

開発地区名	開発者	計画面積	計画戸数	計画人口	開発年	現在の状況
南大和田園都市 牧野A南地区	大和ハウス工業(株)	92.6ha	1,012戸	3,542人	H12~H20	施工中
南大和田園都市 牧野B南地区	大和団地(株) 大和ハウス工業(株)	23.1ha	405戸	1,518人	H元~H4	1,215人 345戸
南大和田園都市 岡地区	大和団地(株) 大和ハウス工業(株)	94.0ha	1,668戸	6,225人	S56~S61	4,660人 1,443戸
エルベタウン	近藤産業(株)	17.1ha	356戸	1,255人	H4~	692人 226戸
開発地合計		226.8ha	3,441戸	12,540人		

【工業地開発】

開発地区名	開発者	計画面積	計画区画数	計画就業人口	開発年	現在の状況
テクノパークなら	奈良県及び奈良県 土地開発公社	88.7ha	31区画	2,500人	H1~H7	26社 1,230人 (H16.4現在)
北宇智工業団地	大和ハウス工業(株)	70.0ha	6区画	1,000人	H6~H14	
開発地合計		158.7ha	37区画	3,500人		



4. 地域における計画

京奈和自動車道「五條道路」は、下記の計画に位置づけられています。

- ・ 奈良県新総合計画後期実施計画（平成13年3月）
「関西大環状道路」の一部を形成する京奈和自動車道などの整備を積極的に推進。
- ・ なら・半日交通圏道路網構想（平成11年6月）
県内市町村の中心地どうしを2時間以内で結ぶための主要道路ネットワークに位置付け。
- ・ 五條市都市計画マスタープラン（平成8年3月）
広域の交流ネットワークの形成・発展を支える交通の軸として京奈和自動車道が位置付け。

事業促進を要望する団体等

期成同盟会等名称	会長	主な構成メンバー
道路整備促進期成同盟会奈良県協議会	生駒市長	奈良県全域 11市18町17村 計46市町村
京奈和自動車道整備促進期成同盟会	奈良市長	奈良県全域 11市18町17村 計46市町村
内吉野土木協議会	五條市長	五條市、西吉野村、大塔村、野迫川村、十津川村 計5市村
葛城広域行政事務組合	大和高田市長	大和高田市、御所市、香芝市、葛城市、広陵町 計5市町
奈良県国道連絡会	橿原市長	奈良市、大和高田市、大和郡山市、天理市、橿原市、五條市、御所市、生駒市、香芝市、桜井市、葛城市、三郷町、斑鳩町、川西町、三宅町、田原本町、王寺町、都祁村、山添村、十津川村、東吉野町、吉野町、下市町、西吉野村、天川村、大塔村、下北山村、上北山村、川上町、黒滝村、御杖村、高取町、明日香村、河合町、大淀町、上牧町 計36市町村
京奈和自動車道建設促進奈良県民会議	奈良県商工会議所連合会会長	計93団体（民間団体等）
奈良県道路利用者会議	奈良県バス協会会長	バス協会・タクシー協会、トラック協会 等17団体

(最近の要望)

- 平成16年7月 京奈和自動車道建設促進奈良県民会議が京奈和自動車道全線の早期完成を要望。
- 平成16年7月 奈良県国道連絡会が京奈和自動車道の早期完成を要望。
- 平成16年7月 ^{かつらぎ}葛城広域行政事務組合が五條道路の早期完成を要望。
- 平成16年8月 奈良県道路利用者会議が京奈和自動車道全線の早期完成を要望。
- 平成16年8月 京奈和自動車道整備促進期成同盟会が五條道路の早期完成を決議。
- 平成16年8月 道路整備促進期成同盟会奈良県協議会が京奈和自動車道の早期完成を要望。
- 平成16年10月 道路整備促進期成同盟会奈良県協議会、京奈和自動車道建設促進奈良県民会議、京奈和自動車道整備促進期成同盟会が、奈良県道路整備促進県民総決起大会で京奈和自動車道等の整備促進を要望。
- 平成16年10月 京奈和自動車道建設促進協議会、京奈和自動車道整備促進期成同盟会、京奈和自動車道建設促進奈良県民会議、道路整備促進期成同盟会奈良県協議会が、京奈和自動車道建設促進東京決起大会で京奈和自動車道全線の早期完成を要望。
- 平成17年2月 ^{うちよしの}内吉野土木協議会が五條道路の早期完成を要望。

2. 交通混雑の緩和、交通安全の確保

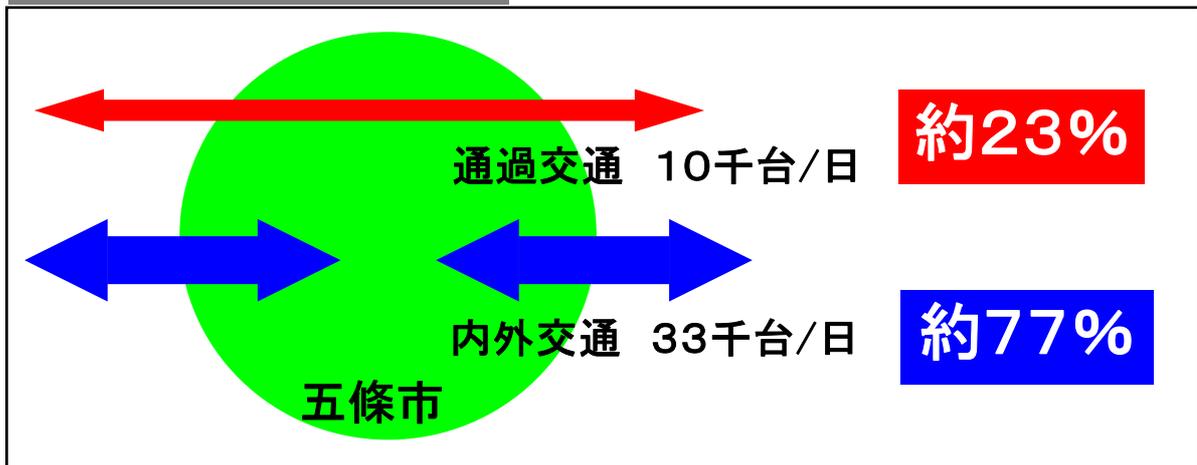
(1) 交通混雑の緩和

五條道路の整備により、五條市を通過する交通は、現道から五條道路に転換することが考えられ、国道24号の交通混雑の緩和が図られます。

国道24号の交通量の転換



五條市の交通流動



出典：H11 道路交通センサスOD

五條市内通過時間



(2) 交通安全の確保

五條道路の整備により五條市を通過する交通が現道から五條道路に転換することにより、現国道24号の交通安全の向上が図られます。



写真①【本陣交差点付近: 京都方面】



写真②【本陣交差点付近: 京都方面】

3. 生活圏・活動圏の拡大による地域の活性化

(1) 都市間の時間短縮による地域の活性化

五條道路を含む京奈和自動車道の整備により五條市と奈良市などの主要拠点都市との所要時間は大幅な短縮による地域の活性化を支援します。



主要拠点都市への所要時間

五條市からの所要時間短縮状況

	所要時間（現在）	整備後	短縮時間
五條市－奈良市（49km）	98分	29分	69分
五條市－ ^{かしはら} 橿原市（29km）	53分	17分	36分
五條市－和歌山市（41km）	70分	24分	46分

※ 奈良市は奈良市役所、橿原市は橿原市役所、和歌山市は和歌山 JCT（仮称）付近として算出。
 ※ 現在の所要時間は、道路時刻表 2002 年度版より算出

(2) 地域産業の支援

現況では、名古屋、和歌山方面へは最寄りのICまで80分以上かかっていましたが、京奈和自動車道の整備により、それぞれ約20分及び30分となり、「柿」などの果実や地場産業の製造品の出荷輸送の効率化など、地域産業を支援します。また、大阪方面へは、南阪奈道路を利用することにより、所要時間が約30分短縮されます。



(3) 観光振興の支援

京奈和自動車道の整備により、広域観光ネットワークが形成され、京都・奈良方面から高野山や、関西国際空港・和歌山方面から吉野へのアクセス道路として、広域的な観光振興を支援します。

■ 古都京都の文化財

■ 古都奈良の文化財

■ 法隆寺地域の仏教建造物

■ 紀伊山地の霊場と参詣道



【凡例】

● 登録遺産

(茶字は登録遺産である参詣道のルート)

岡本博行 菊水楼社長



みち・悠々

30

風情残した観光道を

南の明日香方面などに向かう道路は混雑がひどく、京奈和自動車道などの整備が求められる。吉野地域など県南部の観光開発につながる整備を進めてほしい。県内観光の範囲が広がれば、奈良に宿泊する観光客も増える。

出典：みち悠々(奈良新聞)

南の明日香方面などに向かう道路は混雑がひどく、京奈和自動車道などの整備が求められる。吉野地域など県南部の観光開発につながる整備を進めてほしい。県内観光の範囲が広がれば、奈良に宿泊する観光客も増える。

■ 紀伊山地の霊場と参詣道

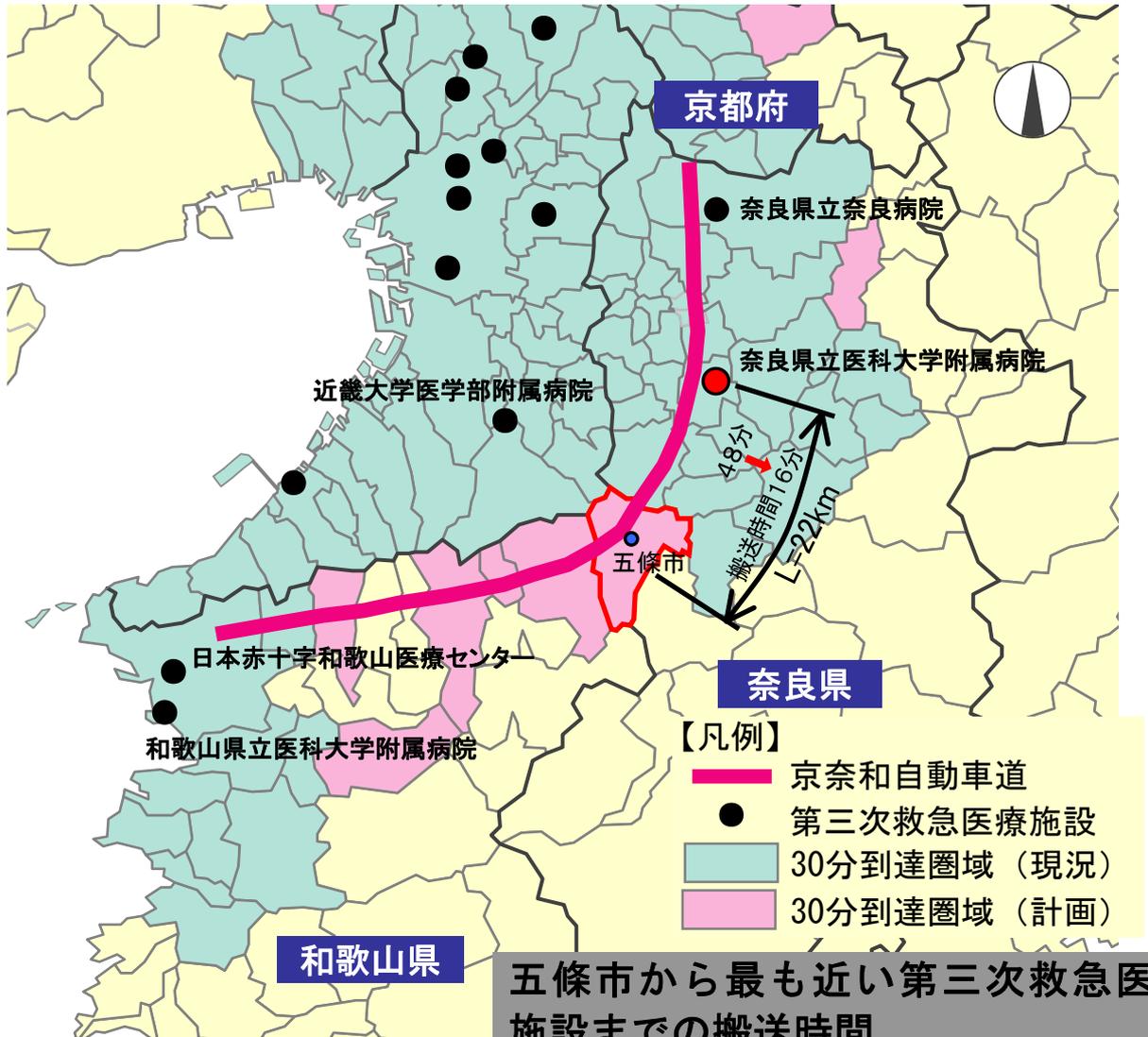


大峯奥駈道(天川村)

(4) 高度医療施設への搬送時間短縮

京奈和自動車道の整備により、第三次救急医療施設30分到達圏域が拡大され、五條市から橿原市内の奈良県立医科大学附属病院までの搬送時間が約1/3に短縮されます。

京奈和自動車道の整備による第三次救急医療施設30分到達圏域



第三次救急医療施設30分到達圏の増加人口
16万人



※第三次救急医療施設とは、脳卒中、心筋梗塞、頭部外傷等の重篤な患者を24時間体制で受け入れ、高度の診療を提供する救急救命センター等の医療施設。

(5) 地域開発の支援

五條道路を含む京奈和自動車道の整備により、高速道路ネットワークが形成され、沿線地域から高速道路へのアクセスが向上することから、住宅団地や工業団地等の開発を支援します。



費用便益比の算定（事業全体）

路線名	一般国道24号 京奈和自動車道
事業名	五條道路
延長	7.9 km

□ 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成16年度			
基準年における 現在価値	3,450億円	227億円	60億円	3,740億円

・・・(B)

□ 費 用

	事業費	維持修繕費	合計
基準年	平成16年度		
単純合計	745億円	85億円	830億円
基準年における 現在価値	824億円	30億円	854億円

・・・(C)

□ 算定結果

費用便益比（CBR）	
B/C	$= \frac{\text{便益の現在価値の合計 (B)}}{\text{費用の現在価値の合計 (C)}}$ $= \frac{3,740 \text{ 億円}}{854 \text{ 億円}} = 4.4$

費用便益比の算定（残事業）

路線名	一般国道24号 京奈和自動車道
事業名	五條道路
延長	7.9 km

□ 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成16年度			
基準年における 現在価値	3,450億円	227億円	60億円	3,740億円

・・・(B)

□ 費 用

	事業費	維持修繕費	合計
基準年	平成16年度		
単純合計	233億円	85億円	319億円
基準年における 現在価値	203億円	30億円	233億円

・・・(C)

□ 算定結果

費用便益比（CBR）	
B/C	$= \frac{\text{便益の現在価値の合計 (B)}}{\text{費用の現在価値の合計 (C)}}$ $= \frac{3,740 \text{ 億円}}{233 \text{ 億円}} = 16.1$

コスト縮減や代替立案等の可能性

五條道路については、周辺の土地利用状況、主要幹線道路との接続をはじめ、大規模宅地開発等のまちづくりとの整合を勘案した合理的な計画であり、用地については91%を既に入収済みであることから、現計画に基づき平成17年度全線暫定供用を目指し、引き続き事業を推進していきます。

施工にあたっては、設計時における道路構造の工夫や新技術の積極的な活用、建設発生土の有効利用等のコスト縮減に努めていきます。

対 応 方 針

(1) 事業の必要性等に関する視点からの見解

- ・京奈和自動車道は、京都、奈良、和歌山の連携強化により広域的な都市圏の活性化を図る路線として早期整備が求められています。
- ・五條道路は、京奈和自動車道の一部として五條市の交通混雑の緩和、交通安全の確保、生活圈・活動圏の拡大による地域の活性化を図るため、早期整備が求められています。
- ・今後、五條道路の整備を図ることによる残事業費に対する費用対効果は16.1であり、事業実施の必要性が非常に高い事業であると考えます。

(2) 事業の進捗の見込みの視点からの見解

用地取得は91%完了し、平成2年度より工事を進めているところであり、平成17年度全線暫定供用を目標に事業を推進します。

(3) コスト縮減や代替え立案等の可能性による視点からの見解

- ・五條道路については、周辺の土地利用状況、主要幹線道路等との接続をはじめ、大規模宅地開発等のまちづくりとの整合を勘案し選定した最も合理的な計画となっていることから、引き続き現計画に基づき事業を推進していきます。
- ・施工にあたっては、道路構造の工夫や新技術の積極的な活用、建設発生土の有効利用等コスト縮減に努めていきます。

◇対応方針（原案）

【事業継続】

京奈和自動車道は、京都・奈良・和歌山間の広域連携を強化し、都市圏の活性化を図る路線として重要な役割を担っています。

その一部を形成する五條道路は、京都、奈良、和歌山の連携強化により広域的な都市圏の活性化を図るとともに、国道24号の交通混雑の緩和、交通安全の確保及び生活圏・活動圏の拡大による地域の活性化を図るため、事業促進が求められています。

今後とも、引き続き事業を推進し、平成17年度全線暫定供用を目指します。

チエックリスト

事業再評価にかかる資料

事業名	一般国道24号 <small>ごじょう</small> 五條道路		事業種別	高規格幹線道路	
事業の概要	起終点	自： <small>ならけんごじょうしいでちやう</small> 奈良県五條市居傳町	延長	7.9 km	
		至： <small>ならけんごじょうしはただちやう</small> 奈良県五條市畑田町			
	事業化	昭和48年度	都市計画決定	昭和62年2月	
	用地着手	昭和63年度	工事着手	平成2年度	
全体事業費	約770億円				

事業の目的

国道24号は、京都市を起点とし、奈良市を經由して和歌山市に至る延長約160kmの主要幹線道路です。

奈良県五條市は、紀ノ川沿いに広がった平野を中心に人口が集中していますが、広域的な幹線道路は2車線の国道24号のみであり、高速道路が未整備な地域であることから、生活圈・活動圏の拡大のため規格の高い道路の整備が求められています。また、国道24号では、交通渋滞や交通事故が多発しています。

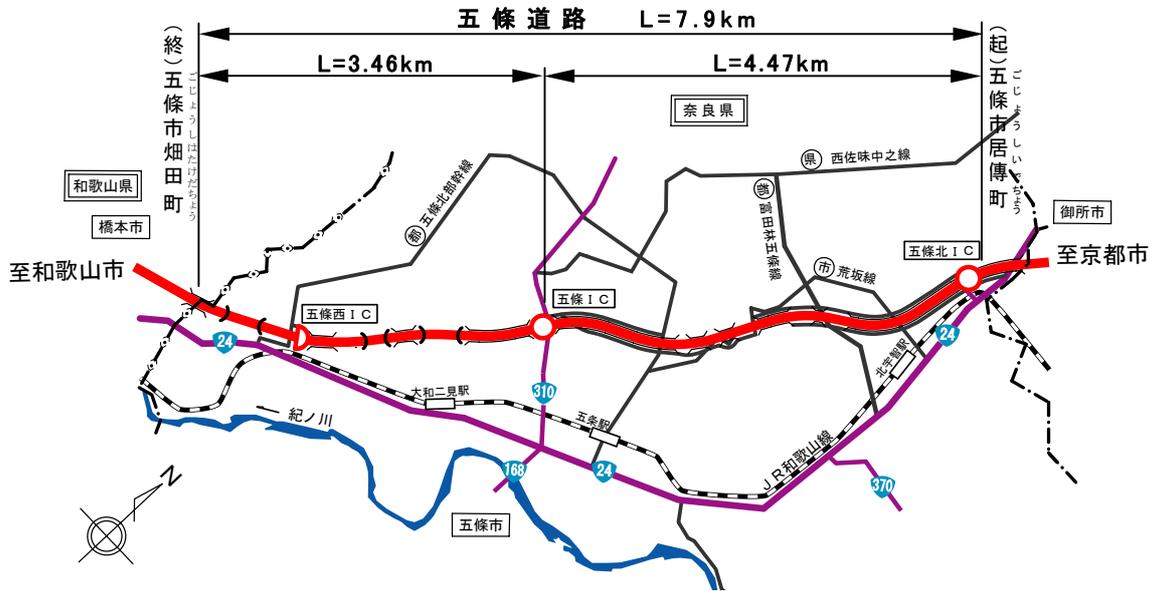
五條道路は、京都・奈良・和歌山を結ぶ延長約120kmの京奈和自動車道の一部として、奈良県五條市居傳町 から五條市畑田町 間に計画された自動車専用道路で、京都、奈良、和歌山の連携強化により広域的な都市圏の活性化を図るとともに、国道24号の交通混雑の緩和、交通安全の確保及び生活圈・活動圏の拡大による地域の活性化を図ることを目的に計画された高規格幹線道路です。



事業名	一般国道24号 <small>ごじょうどうろ</small> 五條道路	事業種別	高規格幹線道路
-----	-------------------------------------	------	---------

執行済み額	事業費：約460億円（進捗率59%）
-------	--------------------

事業の進捗状況	
---------	--



IC名はすべて仮称

事業の進捗状況

- ・ 昭和48年度 事業化 ごじょう 五條バイパス L=6.4km
- ・ 昭和62年2月 都市計画決定（1種3級）
- ・ 昭和63年度 用地着手
- ・ 平成元年 「一般国道の自動車専用道路」として整備計画決定
- ・ 平成2年度 工事着手
- ・ 平成3年1月 都市計画変更（1種2級） ごじょう 五條道路L=7.9km

五條道路の用地買収にあたり、公図が全線にわたり混乱していたことから、公図の訂正を含め、用地買収に時間を要しました。また、一部には任意買収の困難な案件もあり、早期に用地取得を完了させるため、現在土地収用法に基づく手続きを進めています。

また、ほぼ全線にわたり埋蔵文化財が分布しており、発掘調査を行いながら、事業を進めてきました。

供用目標等今後の事業の見通し	
----------------	--

- ・ 用地取得は91%完了しており、引き続き事業を推進し、平成17年度全線暫定供用を目指します。

事業名	一般国道24号 五條道路		事業種別	高規格幹線道路
事業を巡る社会情勢等の変化	再評価実施時点における評価指標該当項目			
	<p>1. 活力 ～円滑なモビリティの確保～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現道等の年間渋滞損失時間（人・時間）及び削減率 <ul style="list-style-type: none"> ・国道24号現道区間の渋滞損失時間は約440万人・時間／年である。 ・当該事業により、渋滞損失時間は約13万人・時間／年となり、約97%が削減される。 <p>4. 環境 ～地球環境の保全、生活環境の改善・保全～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量 <ul style="list-style-type: none"> ・国道24号現道区間のCO2排出量は約4166万t-c／年である。 ・当該事業により、CO2の排出量は約4164万t-c／年となり、約0.1%削減される。 ○現道等における自動車からのNO2排出削減率 <ul style="list-style-type: none"> ・国道24号現道区間のNO2の排出量は約192tである。 ・当該事業により、NO2の排出量は約34t／年となり、約82%削減される。 ○現道等における自動車からのSPM排出削減率 <ul style="list-style-type: none"> ・国道24号現道区間のSPMの排出量は約18tである。 ・当該事業により、SPMの排出量は約3t／年となり、約82%削減される。 			
	事業採択時より再評価実施時までの周辺環境の変化等			
<p>五條道路の沿線の五條市では人口が昭和45年から平成12年にかけて約1.04倍に、自動車保有台数は約3.71倍に大幅増加している。</p>				
効果分析の要因の変化	<p>【事業全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現在の費用便益比：B/C=4.4 （基準年次：平成16年、検討年次40年間で算出） <p>【残事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現在の費用便益比：B/C=16.1 （基準年次：平成16年、検討年次40年間で算出） 			
立案等の可能性	<p>五條道路については、周辺の土地利用状況、主要幹線道路との接続をはじめ、大規模宅地開発等のまちづくりとの整合を勘案した合理的な計画であり、用地については91%を既に買収済みであることから、現計画に基づき平成17年度全線暫定供用を目指し、引き続き事業を推進していきます。</p> <p>施工にあたっては、設計時における道路構造の工夫や新技術の積極的な活用、建設発生土の有効利用等のコスト縮減に努めていきます。</p>			
地方公共団体の意見	<p>奈良県・・・・・・・・・・ 京奈和自動車道の早期完成を要望 五條市等県下46全市町村・・・ 京奈和自動車道の早期完成を要望</p>			
対応方針	<p>事務局案 事業継続 （理由） 京都、奈良、和歌山の連携強化により広域的な都市圏の活性化を図るとともに、国道24号の交通混雑の緩和、交通安全の確保及び生活圈・活動圏の拡大による地域の活性化を図るため、事業促進が求められています。今後とも、引き続き事業を推進し、平成17年度全線暫定供用を目指します。</p>			